

審査結果報告書

令和 6年 3月 7日

富谷市議会議長 金子 透 様

富谷市議会議員政治倫理審査会

委員長 河村 和徳

富谷市議会議員政治倫理条例（以下、「条例」という。）第15条第1項の規定に基づき、令和6年1月30日付けで審査請求があった事案について、下記のとおり報告します。

記

1 審査請求の対象となった議員

荒谷 敏 議員

2 審査結果

条例第5条第1号の政治倫理基準に抵触していると判断する。

条例第17条の規定に基づき、審査請求の対象となった議員に対し、同条17条（3）の措置として、「文書による厳重注意」及び「文書による再発防止に向けた対応策の説明と実施結果の報告を求める」とするのが相当であると思われる。

3 結果に至るまでの経緯等 別紙のとおり

富谷市議会議員政治倫理審査会の概要等

1 審査会設置の経緯

令和6年1月29日、「荒谷敏議員の新聞報道に関する今後の対応について」と題して荒谷敏議員がバレーボール女子、Vリーグ2部の公式戦の招待券チケット2枚を入れた封筒を令和6年1月9日の消印にて、郵便により本市市議会議員15人に配ったこと、また、その封筒の表書きに荒谷敏議員本人の氏名、住所、連絡先が記されていたことが、本市議会議員政治倫理条例において政治倫理基準を定めた第5条第1号に抵触すると思われることから、議員全員協議会において協議を行った。

議員全員からの意見等を徴した後、政治倫理審査会の設置について、挙手により賛同の有無を求めたところ、議員全員の賛同を得たものとなった。

この結果を受け、令和6年1月30日、富谷市議会議員16名（村上治議員、小松大介議員、佐藤浩崇議員、伊藤嘉樹議員、須藤義議員、畠山由美議員、菊池美穂議員、渡邊清美議員、塩田智明議員、長谷川る美議員、浅野直子議員、出川博一議員、青柳信義議員、渡邊俊一議員、畑山和晴議員、菅原福治議員）の連署をもって富谷市議会議員政治倫理条例（以下、「条例」という。）第5条第1号に抵触していると思われることから、条例第8条に規定する審査請求書が本市議会議長宛提出された。

2 議長から指名を受けた審査会委員

条例第9条第2項及び同条第3項の規定により、以下の9名とした。

- (1) 河村和徳東北大学准教授、渡辺拓也弁護士
- (2) 1名
- (3) 塩田智明議員、畑山和晴議員、浅野直子議員、青柳信義議員、渡邊俊一議員、菅原福治議員

3 審査会の概要

【第1回審査会】令和6年2月16日（金）午後3時から議員控室において委員全員出席で開催した。開会前の委嘱状の交付の後、開会し、正副委員長の互選を行い、委員長に河村和徳委員、副委員長に渡辺拓也委員が選出された。その後、議長より委員長あて諮問書の伝達を行った。

続いて、審査請求の内容確認、今後の進め方等について協議した。

【第2回審査会】令和6年2月26日（月）午前10時から305会議室において委員全員出席で開催した。荒谷敏議員に対する弁明の機会の付与後、荒谷敏議員への意見聴取等を行い、弁明及び意見聴取等に基づき、審査結果についての協議が行われた。

【第3回審査会】令和6年3月6日（水）午後4時30分から305会議室において委員全員出席で開催した。これまでの会議の内容等を考慮し、審査結果についての最終確認が行われた。

4 審査結果に至る経緯及び要望

- ・ 荒谷敏議員は、議員に就任する以前から本市とパートナー協定を締結している女子バレーボールチーム・リガーレ仙台からの依頼を受け、宮城県バレーボール協会の役員として大会の運営に関わってきた。招待券チケットの配布については、長年の習慣だったとのことだが、当該チケットが入った封筒の表書きに荒谷敏議員本人の氏名、住所、連絡先が記された封筒を使用したことは、議員という公人である認識に欠けていた。

個人の利益のための行為ではないと思われるものの、実際にはマスコミに取り上げられるなど、職務に関して不正の疑惑をもたれたことは明白であることから、本市議会議員政治倫理条例において政治倫理基準を定めた第5条第1号に抵触することは明らかである。

ただし、このことを議長が注意し、すぐに回収したことにより、実際に当該チケットを使用して観戦した議員はひとりもいなかったこと、また、議員として1期目であることから情状酌量の余地はある。

- ・ 今回の案件は公職選挙法に抵触する可能性もあること、また、議員として1期目の議員も複数いることから、議会全体として公職選挙法についての研修の場を設け、理解を深める必要があると考える。

また、このことについては、本市を含め黒川地方において、改選後間もない町村や、間もなく改選を迎える町があることから、例えば黒川地方市町村議会合同で公職選挙法について学ぶ機会を設けるなどの対策を講じるよう望むものである。

- ・ 本市とリガーレ仙台との間には、パートナー協定を締結していることから、本市議会としても安心して応援できる環境を整えていただけるよう、荒谷敏議員に対して宮城県バレーボール協会との話し合いの場を設けていただきたい。
- ・ 宮城県バレーボール協会として、今後このようなことを二度と起こさない為の取り組みについて、同協会としての考えや、どのようなことを行ったのかを確認するため、荒谷敏議員から本年10月を目途として、議会に対して、文書によりその内容の説明をお願いしたい。